

【質問への回答】

シート	連番	事業名	事業開始年度	内容	担当課	令和7年度の成果（令和8年3月31日現在）	課題・今後の対策	委員からの質問	質問への回答
1-1	30	高齢者の職業能力開発と活動支援	平成18年度（推定）	シルバー人材センターとの連携により、職業能力開発による高齢者の就業援助と、高齢者の地域活動への参画支援をします。	商工観光課	久喜市シルバー人材センターに加入している高齢者の就業が図られるように取り組みました。	会員の高齢化や、内容と会員の希望条件との間のミスマッチが課題となっています。	「会員の高齢化や、内容と会員の希望条件との間のミスマッチが課題となっています。」とのことですが、その具体的な内容と対策についてお教えください。 この事業の内容（目的？）は、シルバー人材センターとの連携により、職業能力開発による高齢者の就業援助と、地域活動への参画支援をすると書かれています。就業を希望する高齢者の能力が、希望するまたは提供できる業務に足りない場合は、その差を埋めるための援助がやるべきことの一つではないかと考えます。そのような観点からの質問です。	希望条件のミスマッチとは、屋内での事務仕事に就業希望が集中しがちで、外作業を希望する会員が減少していることについて述べたものであり、高齢者の能力不足によるものではありません。 なお、現在シルバー人材センターでは植木選定初心者講習会など、会員の技術向上を目的とした研修・講習を行っており、市は補助金によって支援を行っています。
2-1	87	はつらつ運動教室リーダー養成講座	平成18年度	介護予防運動教室の指導者を養成します。	高齢者福祉課	以下の日程で、はつらつリーダー養成講座を実施中です。 清久コミュニティセンター、各金曜日、13時半～15時半 初期研修日程：第1回9月12日、第2回9月19日、第3回10月10日、第4回10月24日、第5回11月7日、第6回11月21日、第7回11月28日 中級合同研修日程：12月12日、1月9日、2月13日 中級実地研修：11月～2月で実施。	申込人数が少ないことや申込者の不参加、途中で辞めてしまう方がいることが課題です。 参加者人数を増やすため、参加者用のチラシを作成し、はつらつ運動教室経験者からリーダーを養成していきます。	課題欄に「申し込み人数が少ないことや申込者の不参加、途中でやめてしまう方がいることが課題です」と分析されております。はつらつリーダー養成講座は、昨年度成果から読み取ると長期間で大変そうです。 介護予防運動教室のニーズはどれくらい行っていて、指導者の数が必要または不足しているのでしょうか？ また、はつらつ運動教室経験者からリーダーを養成していく旨記載されております。はつらつ運動教室は昨年度40回ほど実施されているようですが、リーダーとなりうる経験者は十分おられるのでしょうか？	はつらつ運動教室は週1回、計41会場で実施しております。毎年、はつらつリーダーを養成していますが、年齢や体調不良などでリーダーを辞められる方が多いことから、リーダー数が増加していません。 そこで、運動教室に参加されている方々にリーダー養成講座のチラシを配布し、リーダーになることを奨励しています。年齢や体調不良で希望しない参加者もいますが、講座を受講してリーダーに就任した参加者もおります。また、広報やSNS、公共施設、民間商業施設等で情報発信を行い、周知を図っています。
-	73・74	-	-	-	-	-	-	連番73・74の項目が欠番のように見えますが、いかがでしょうか。	73は「農業体験、料理教室等の開催」、74は「健康づくり・食育推進大会」という項目です。どちらの項目も事業として、終了しており、再開の見込みもないため、計画の進捗報告からは省略しています。 73の事業は、農業振興課において、事業見直しにより事業自体が令和6年度で廃止しました。ただし、しみん農園の管理・運営は引き続き農業振興課で行い、学校給食で地元産農作物の利用により職員の推進を図るなど、本事業以外のアプローチにより農業や農村の更なる理解促進に向けて取り組んでいます。 74の事業は、健康医療課において第二次健康増進・食育推進計画に基づき開催していましたが、計画期間の終期に伴い、令和5年度をもって事業が終了となりました。